

号外

地域安全ニュース

令和3年1月

高齢者の皆さまへ



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、社会全体に不安感が高まる中、その不安につけ込んだ特殊詐欺の予兆電話や、被害の発生が懸念されます。



事例

▼親族等を装った詐欺の事例

息子等親族を装い「コロナウィルスに感染した可能性があるので、明日病院に行く。」「電話番号が変わったので、今後は別の携帯に電話して欲しい。」「お金が必要なので振り込んで欲しい。」等と誘導して最終的に現金を騙し取る。



～被害を防ぐために～

◎ 突然、息子等親族からお金を無心する連絡があった場合は、一旦電話を切り、お金を振込んだり手渡しする前に、**それまでに把握していたご家族の電話番号に電話をかけ直したり、他のご家族に相談してください。**

★「電話番号が変わった」は要注意！

▼区役所の職員を騙る詐欺の事例

区役所の職員を騙って、「保険料の還付金がある。コロナで窓口が密になるのを避けるため、ATMに行って欲しい。」等と誘導して現金を振り込ませる。



◎ 市区町村等の職員がATM(銀行やコンビニ等の現金自動支払機)の操作をお願いすることは、**絶対ありません。**

★「還付金がある」は詐欺！

★「ATMに行って」は詐欺！

▼金融機関や区役所の職員、警察官等を騙る詐欺の事例

「あなたの口座が犯罪に利用されている」「カードの暗証番号を教えてください」「カードを受け取りに行くので、準備して」等とカードを渡すように要求する。



◎ 金融機関や区役所の職員、警察官等を名乗る電話であっても、**暗証番号を聞かれたら、何も言わずに電話を切ってください。**

◎ 金融機関職員や警察官が暗証番号を聞いてキャッシュカードを預かりに行くことは絶対にありません。

★「暗証番号教えて」は詐欺！

～被害に遭わないために～

✿ 防犯機能付電話機や留守番電話機能を活用して、詐欺の電話に出ない工夫をしてください。

✿ 金融機関や官公署からの電話であっても、必ず電話を掛けたおし確認してください。



京都府警察本部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室
075 - 451 - 9111

